

インバウンドの取組に対する現状認識

- 全国的に訪日外国人旅行者が急増している中で、外国人宿泊者数の東北の占める割合は全国の約0.9%に過ぎない状況。
 - 秋田県は、東日本大震災の間接的な影響により、東北の中でもシェアが最下位。
- 東北は、国際航空路線網が貧弱。仙台空港を東北のインバウンドのゲートウェイとして位置づけ、仙台を核にして東北のインバウンド誘客の底上げを図る必要。その中で、各県が個性や強みを活かして、海外からの誘客の拡大を図ることが重要。

台湾及びタイを中心とした集中的なインバウンドの推進と、シンガポールやパリなどでの県産品のPRなどを、相互に連携して実施。

台湾・タイ等をターゲットとした観光誘客

官民が一体となり、秋田の強みを前面に打ち出した旅行商品の造成拡大と情報発信の強化を図り、台湾及びタイを中心とした海外からの誘客を拡大

台湾

将来の定期便を目指した取組

- ・台湾人に人気があるサイクリング、スキー、ローカル鉄道等、訴求力のある旅行企画の提案
- ・好評の県産品プレゼント付き旅行商品の造成による誘客の拡大
- ・将来の定期便化を見据えた秋田発台湾チャーター便の運航

タイ

延べ宿泊者数5000人を目標

- ・高い評価を受けている「農家民宿」と「教育旅行」を核にしつつ富裕層をターゲットとした誘客
- ・発信力のあるパワーブロガーやフェイスブック、TV番組の活用、食との連携による現地誘客プロモーションイベントの実施

韓国

定期便の早期再開

- ・現在、運休となっている大韓航空秋田ソウル定期便の早期再開を目指して、韓国人に人気がある、温泉、スキー、トレッキング等の観光素材を提供し、秋田の魅力を発信

<秋田ならではの資源を活用したPR>



秋田犬



森吉山の樹氷と雪上車



小坂レールバイク



増田の内蔵



秋田内陸線



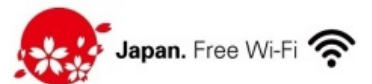
中国・豪州

- ・中国からのチャーター便やLCCの誘致
- ・日本酒販促とセットにした豪州市場の開拓

「やさしさ日本一」受入体制整備

秋田県を訪れた外国人が安心して旅行することができる受入体制を整備

- ・観光施設や宿泊施設へのWi-Fi整備、統一ステッカー等による利用環境整備
- ・SIMカードの活用による通信環境の改善
- ・「あきたの旅のサポートセンター」の整備と英語コンシェルジュの配置
- ・外国人が定番とする旅行関連ウェブサイト等での質の高い情報発信
- ・電話による24時間多言語対応サービス
- ・県内においてツアーオペレーター業務や着地型旅行商品の造成などに新たに取り組む事業者の育成
- ・民間宿泊施設の魅力向上に向けた取組の支援による、新たな顧客の獲得と旅行者の満足度の向上
- ・クルーズ船受入体制構築



将来のDMO構築も見据えながら、二次アクセスの整備と利活用を促進

- ・海外からの個人旅行者にも対応できる二次アクセスの整備・利活用を図る取組への支援
- ・地域の様々な主体による観光地域づくりの取組の支援

十和田・八幡平地域の観光再生

- ・国立公園指定から十和田80周年、八幡平60周年を迎える絶好の機会を捉えた誘客展開
- ・二次アクセス整備や廃屋対策



県産品の輸出促進

- クールアキタ食の輸出拡大支援～新たな食の創造と海外展開～
- ・台湾や豪州への県産品の売り込み強化、シンガポールやパリの市場の開拓
- 伝統的工芸品等の海外展開支援

国際会議の誘致や文化・スポーツ資源の活用

- ・県内の民俗芸能が一堂に会する「新・秋田の行事」(大館市)、「国際花火シンポジウム」(大仙市)、「日ASEAN次官級交通政策会合」等の開催
- ・FISワールドカップモーグル大会の開催、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた海外ナショナルチームの事前合宿誘致